

イラスト倶楽部

イラストははがきに黒一色でつくりと、薄い鉛筆書きはボツにします。
 ◆ペンネーム希望の人も住所、氏名、年齢を忘れずに。採用分には粗品を贈呈。
 ◆締め切りは毎月15日。それ以降に届いたものは翌月に回します。
 ◆あて先 〒950-12 白根市大字白根1-2-35 白根市役所広報課しるねイラスト係

ガンバのハンターが、まじまじと、場所を、プラスワンです。
 ▲P.N なちこ=ブライアントさん (下赤波)

Thank You!!
 ▲P.N モルル3世さん(大通南2)

▲P.N フォーチェンさん (古川)

▲近藤このみさん (沖新保・7歳)

広報クイズ QUIZ GAME

〔応募方法〕 はがきに答え、住所、氏名、年齢、ご意見を書いて白根市役所広報係(〒950-12 白根市大字白根1-2-35)へ。締め切りは7月17日(必着)。正解者の中から抽選で5人に5000円の図書券を、3人に県立自然科学館招待券をペアで差し上げます。

①今年から「子ども大風合戦」に参加した小学校は?
 A 茨曾根小 B 味方小 C 黒崎小
 ②ラルジーさんが風合戦協会に寄贈してくれた優勝カップの名前は?
 A ラルジー杯 B レルヒ杯 C 乾杯
 ③本市出身のプロ野球選手、渡辺浩司選手。彼の背番号は?
 A 16 B 26 C 56
 〔当選おめでとう〕 先月の正解は①A②C③Cでした。〔図書券〕 大倉英二(七軒町) 平山勝幸(下道湯) 石倉百合子(さつき町) 猪腰彦五(朝巻) 川又哉子(魚町) 〔自然科学館招待券〕 斉藤文子(中央通) 坂井明美(白根) 和田としや(庄瀬)

○白根市出身の日本ハム・渡辺選手の活躍はうれしい限りです。ただでさえ新潟県出身のプロ野球選手は少ないので、頑張ってくださいね。(K)
 ○犬を連れてくる人によく会うのですが、道の真ん中にフンが置き忘れられています。飼主の人は散歩するとき、責任を持って始末してください。(A)
 ○6月4日前後には、歯に関する話題が多くなりますね。64歳の母は、自分の歯でスルメイカなどバリバリ食べています。強い歯は強い胃をつくる、強い胃は健康をつくるという図式は当たっているように思えます。(S)

市民文芸

俳句

リラの香やしばらく過去のの中にあるし
 豊木サダ子
 用水の水音高く夏に入る
 安沢 飛浪
 暮れてなほ人影かがむ植田かな
 吉川八重子
 指先の切傷疼く余花の雨
 堀内十子
 杉起す運命を負うて卒業す
 猪股 南魚
 踏んづけし履もつとも太かりし
 田部 余白
 いつも来るパン屋の軒の初燕
 古川 綾
 百歳の母と夕餉の子供の日
 五十嵐智恵子
 道伸に桃の花見の誘ひあり
 和泉 伸子
 童歌聞え菜の花明りかな
 木村 トリ
 (以上大風会)
 湯上りの髪を手櫛に夕薄暮
 間島喜代子
 鉄線花結び目固き四ツ目垣
 真島つぎえ
 下校児の上衣ふり来る薄暮かな
 小林 なお
 水走る田水白ひ薄暮かな
 小林富沙子
 街路樹の影濃くなり薄暮かな
 知野信一郎
 またひとつそば屋の増えて街薄暮
 塚本 幹子
 遮断機のながく感じる夕薄暮
 金子 千代
 鉄線の花や暮色にいつか解け
 田中美根子
 鉄線花余生のごときあまり憂
 丸山 虚秋
 昨日けふ日記短かき薄暮かな
 間島 秀穂
 (以上かまつか新飯田俳句会)

短歌

「疲れたから明日考える」
 スカレット・オハラのを逃げし勁さその生
 村山 和江
 春陽照る庭に一日音牙えて
 木鉄鳴らす夫を茶に呼ぶ
 田中 恭子
 現なく我が身に装う十二単衣
 その衣ずれの音のやさしき
 出来島ミサホ
 家守木の萌ゆる新緑さかしまに
 映して澄める五月田の面
 木川 久子
 「きれいでしょ」彩とりどりの春の庭
 障子をあけて道影にささやく
 阿部 テイ
 人気なきゲートボール場に並ぶ椅子
 声揚げる友の面影浮かぶ
 剣 淑子
 何時しらに良寛遊きし年齢と
 指をり見れば吾れ七十三
 小出熊四郎
 深緑の枝間にささくゆるカンコ鳥
 二声三声啼きつつ去りぬ
 小出よしの
 丙土堤に中の口川浴い大風合戦
 世界に知られる白根の誇り
 長谷川久二
 梳く髪を白くを黒く見やる述
 あれども我はこのま、が好き
 中村 京
 川柳
 嫁の目に門限過ぎた刺を見る
 佐藤 ヨキ
 平和日本百鬼夜行の乱れ雲
 田村 恒夫
 金婚の峠を下る足揃え
 佐藤トミノ
 ボス何か云ったか蟻の右ひだり
 西条 ムラ
 お遊戯が何時まで続く永田町
 中村 尚治
 慎重になり過ぎ裏目となる代打
 山岡 フミ
 美しくピンクに染めた嘘がばれ
 高橋祐四郎
 古希迎えあとの峠はいくつある
 大谷 龍吉
 船はいま出てゆく鮎連う別れ
 織田 福治
 言い訳が友との距離を遠くする
 織田 セツ
 タイムカプセル開けると遠い日の匂い
 今井 七郎
 私権は無言で悪毒を聞えてくれ
 後藤マサノ
 生か死か火花を散らす心電図
 吉川 彰
 (以上白根文芸川柳会)

Talk & Talk

市民談話室

日ごろ考えていることや身の回りの出来事などを、500字程度にまとめて投稿してください。紙面の都合上、若干手直しさせていただくこともありますが、あて先は広報広聴係(〒950-12 白根市大字白根1-2-35 白根市役所企画財政課)です。

大切な家族



辻 一義 (西笠巻新田1)

家族とは何か?ふと考えてみると「励まし合える場所」、「協力の場所」という特徴が頭に浮かんでくる。私はもう高校三年生になるが、今ほど「家族っていいなあ」と思ったことはない。今までの十七年間を振り返ってみると、いろいろなことが思い出される。何回も家族で旅行へ行ったこと、悩んでいるときにも温かく接して適切な提案を与えてくれたこと、また、弟たちとの接触、反抗したときの断固とした態度など。これから大人になっていくにつれて、自主独立する私にとって、いつまでも親に甘えていく訳にはいかない。だから両親のそば、弟たちの近くにいる間に、親孝行をし、弟た

ラジオ番組に投稿して



河内勝哉 (兎新田)

去る二月下旬のことです。私が聴いているNHKラジオの「深夜便」という番組で、週に一度リクエストの日があります。その番組に、私の青春時代のことを振り返りながらリクエスト曲と共に便りをお送りしたのです。それが、二月下旬に紹介されました。初めは、自分の書いたものを聴くのも恥ずかしい気持ちでした。

しかし、次第にその気持ちも変わり、今、自分が若いころの思い出を書いたつたない文章でも、プロのアナウンサーの朗読で、全国の皆さんに聴いてもらっているのだと思、感動と嬉しい気持ちでいっぱいになってきました。そしてその後、北は本州の北端青森県から南は九州の宮崎県まで全国の皆さんから私に対する励ましのお手紙や懐かしい歌を聴かせてもらいありがたかったというお礼のお手紙などをいただきました。お手紙の中には、今後も友達として付き合っていたらいい、お互いに励まし合って、毎日を過ごしていきたいというものもありました。お手紙をくださった方の大部分は、高齢になられ、一人暮らしをされている方や私のように体が不自由で、一人で行動することも思うようにできないという皆さんです。これらの皆さんからのお便りを拝見させていただきながら思うのは社会福祉の大切さです。そして改めて家族の絆の大切さも感じました。

私の家は、大正生まれの私の両親と戦前生まれで、戦後の物不足の時代に育った私たち、そして生活も向上した時代に育った私の子供や孫が同居しています。違う世代が同居していますので、もの考え方や時代の考え方も違ってきます。そういう中で、お互いに考えて行動していかなければならないと思います。そして、今後は家族の協力を得て余生を過ごしていくことをもう少し考えていきたいと思っています。

